

## 非同盟運動調整局局長

### ベネズエラ・ボリバル共和国への連帶及び一方的な強圧的手段を更新する アメリカ合衆国の決定への拒否に関する非同盟運動（NAM）調整局の声 明

1. 非同盟運動調整局は、国連憲章及び国際法に反して非同盟運動加盟国に対し一方的な強圧的手段を公布し適用することを非難する原則的立場に即し、バラク・オバマ大統領が 2015 年 3 月 8 日に署名した大統領令に基づくベネズエラ・ボリバル共和国に対する一方的な強圧的手段を更新するという 2017 年 1 月 13 日のアメリカ合衆国の最近の決定を拒否する。この大統領令は「ベネズエラの状況により呈されているアメリカ合衆国の国家安全保障及び外交政策にとっての非常かつ並外れた脅威に関して国家緊急事態」を宣言するものである。
2. 非同盟運動調整局は、バンドン 10 原則を鑑み、この不相応な手段を遺憾に思うとともに、ベネズエラ・ボリバル共和国の主権、領土保全、政治的独立への確固たる支持を繰り返し表明する。そのため非同盟運動調整局は、国際連合憲章、並びに国際連合憲章に従った諸国間の友好関係及び協力についての国際法の原則に関する宣言（友好関係原則宣言）に提唱された目的及び原則を含めた国際法を尊重する必要性を強調する。
3. 非同盟運動調整局は、紛争の平和的な解決を促進するため対話の重要性を強調し、そのため、アメリカ合衆国政府及びベネズエラ・ボリバル共和国政府に対し、建設的な対話を開始することを強く求める。
4. 非同盟運動調整局は、ベネズエラ・ボリバル共和国の国民及び政府への完全なる連帶及び支援並びにこれら手段への拒否を表明するとともに、自らの原則的立場によって、アメリカ合衆国政府に対し、国際法、国連憲章並びに国家間の平和的な関係を定めた規則及び原則に反し、国家間の対話及び政治的理解の精神に影響を及ぼし、これら手段にさらされた両国民の完全なる社会的経済的発展を阻害する、違法な強圧的手段を放棄し廃止することを強く求める。

2017 年 1 月 17 日、ニューヨーク

